

2016年9月30日
SCSK株式会社

三菱東京UFJ銀行 リテール部門の渉外業務用タブレットへ コンテンツ統合基盤サービス「FR2GO」を提供開始

～法人部門 2,500 台に加え、新たにリテール部門 5,000 台のコンテンツ配信基盤として～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:谷原 徹、以下SCSK)は株式会社三菱東京UFJ銀行(本社:東京都千代田区、頭取:小山田 隆、以下三菱東京UFJ銀行)のリテール部門の外訪担当者用 Android タブレット 5,000 台のコンテンツ配信基盤として、SCSKの金融機関向けモバイルコンテンツ統合基盤サービス「FR2GO (エフアール・ツー・ゴー)」が選定され、2016年10月1日から全面利用が開始されることをお知らせします。

1. 背景

三菱東京UFJ銀行では、従来、リテール部門の渉外業務において Android タブレットを配布し活用を進めてきましたが、2016年度、タブレット端末の全面刷新、利用者数を拡大するとともに、よりお客様のニーズにきめ細かく応えるコンサルティングを実現させるため、新たな情報管理ツールの検討を進めていました。

こうした背景のもと、かねてより法人部門の渉外業務用 iPad/iPhone 2,500 台のコンテンツ配信基盤として利用実績のあった「FR2GO」を評価、選定いただき、リテール部門の Android タブレット 5,000 台(両部門合計 7,500 台)へ導入しました。

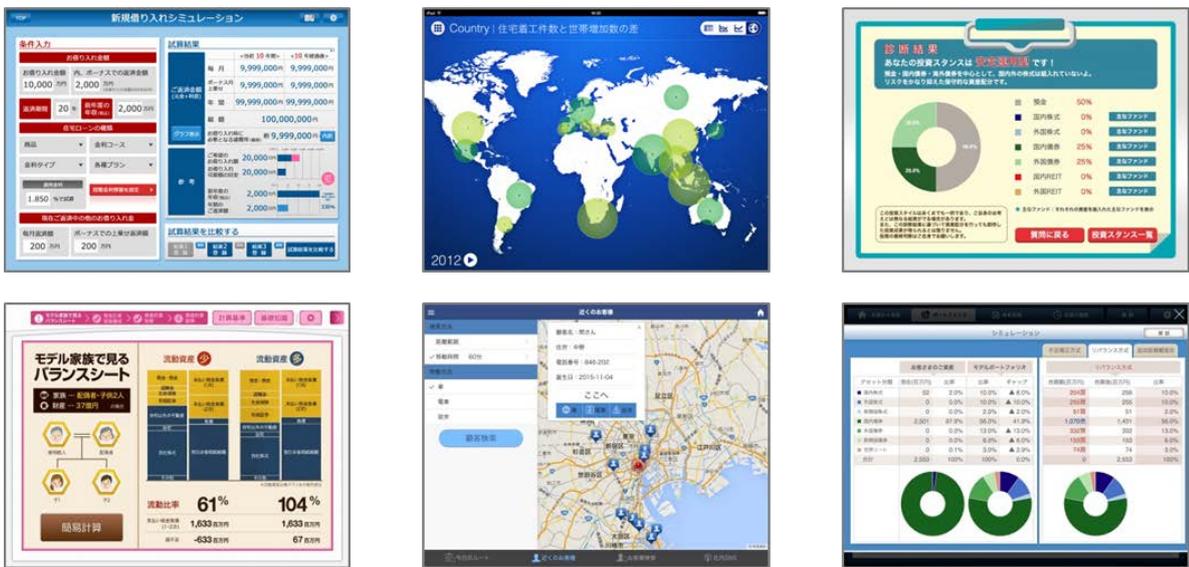
2. モバイルコンテンツ統合基盤サービス「FR2GO」の概要

「FR2GO」とは、情報・コンテンツを一元管理するサーバーと、スマートデバイス上で情報・コンテンツをシームレスに利用できるアプリで構成する金融業界特化型のモバイルコンテンツ統合基盤サービスです。「アプリや情報がバラバラで使いにくい」「商談中に関連資料を探すのが大変」「定型の資料だと商談しにくい」といった営業現場が抱える課題を解決します。「FR2GO」では、ビジネスモバイルアプリに求められる「認証」「ログ記録」「セキュリティ」などの共通機能を、コンテンツ統合基盤として標準搭載しています。また、相続税・贈与税シミュレーションをはじめ、住宅ローンシミュレーション、投資スタイル診断など、アプリコンテンツを豊富にご用意しています。

<共通機能>



<アプリコンテンツ>



3. 三菱東京 UFJ 銀行における「FR2GO」の活用

リテール部門では、まずは商品・サービスの説明資料などを外訪担当者向けに配信するコンテンツ配信基盤として「FR2GO」の活用を開始します。例えばアプリやコンテンツが増加しても、「FR2GO」をモバイルポータルとして活用することで、煩雑になりやすいコンテンツ管理がコンパクトに整理され、さらには、商談時における具体例の提示など補足資料としての効果が期待できます。また、今後は店舗向けの活用も検討しており、店舗内に設置されたタブレットに動画やシミュレーションコンテンツを配信することで、お客様の手続き待ち時間に関連商品を紹介するなどの活用が考えられます。

SCSKは長年にわたり銀行システムをはじめとした多くの金融機関向けシステムの開発実績があり、昨今では銀行・証券業界を中心に、モバイル向けアプリの開発ノウハウも蓄積してきました。

「FR2GO」では、これまでの導入経験をもとに、サービス活用に関するコンサルティング、機能・コンテンツ開発を強化・推進していきます。さらには、2016 年度より発足した FinTech 専任部署と連携し、日々進化する業界特性にあわせたサービス拡充を図っていきます。

本件に関するお問い合わせ先

【製品に関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社
 金融システム事業部門 金融システム第一事業本部
 銀行システム営業第一部 深尾
 TEL : 03-5859-1792

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社
 広報部 西広
 TEL : 03-5166-1150

※掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。